

自由民主

百の主張より、ひとつの行動。

あさい正仁

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

市会議員活動の1年を振り返って

皆様の温かいご支援により、昨年3月13日の市議員選挙で当選させていただきました。身の引き締まる思いで市議員の活動をスタートさせていたから、1年が経過しました。

愛知県知事選挙と名古屋市長選挙及び市会リコール住民投票のトリプル選挙、市民税10%減税、議員報酬半減、地域委員会など、様々な話題への注目が高まる中、多くの方々のご協力やご指導をいただきながら中川区と名古屋市政の発展に向け、全身全霊を傾けてまいりました。

市会の本会議では、選挙後に初めて開催された昨年の3月議会での「不登校対策」を皮切りに、6月議会での「あおなみ線の活性化」、9月議会での「暴力団の排除の推進」、そして今年2月の議会での「陸前高田市との交流」などについて質問し、あおなみ線でのSLの試験運行、名古屋の中学生による陸前高田市への訪問と交流、市バスの安全運行の向上につながる施策



などが実現し、新聞でも大きく報道されました。

また、市民の皆様との清掃活動や地域で行われる行事にも数多く参加させていただきました。市政に対するご意見やご要望、お叱りをいただきながら、地域に密着した活動を心がけ、地域の声と市政を結ぶことに努めてまいりました。

中川区は、名古屋市の中西部にあつて、名古屋環状2号線、東名阪自動車道、名古屋高速道路、国道1号線など幹線道路と接続され、名古屋の西の玄関口として、さらなる発展が期待されています。また、史跡では尾張四観音の一つである童子観音があり、千体を超える円空仏や国の文化財に指定されている多宝塔など、魅力と歴史のある観光資源を活用したまちづくりに向けて大きな可能性を秘めています。

一方で、土地は低く平坦な地形にあつて、中川運河をはじめ庄内川・新川など7河川が流れ、台風や豪雨、地震や津波に対する防災対策の一層の強化も必要となっております。

今後も引き続き地域の皆様の様々な声を市政にお届けしながら、子供からお年寄りまで、安全で安心して暮らせる、住みよいまちに向けて努力してまいりますので、今後ともご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成24年度の主な施策	中川区		富田支所	
	市民経済局	自主的・主体的な区政運営	環境局	富田工場の設備更新
	健康福祉局	障害者自立支援施設の整備補助（昭和橋作業所） 中川区休日急病診療所等の改築補助（高畑一丁目）	子ども青少年局	民間保育所の整備補助（富田町） グループ実施型家庭保育室（吉津二、三丁目）
	住宅都市局	下之一色地区総合整備 ささしまライブ24の整備	住宅都市局	市営住宅の建設（戸田）
	緑政土木局	幹線道路の整備（道路改良・江川線始め） 橋りょうの新改築（橋りょう整備・正江橋、篠原橋、運河橋） 治水対策（広域河川・堀川） 大公園の整備（昭和橋公園）	緑政土木局	橋りょうの新改築（橋りょう整備・正江橋） 立体交差（長須賀架道橋） 治水対策（排水路の整備・戸田10号排水路） 治水対策（広域河川・戸田川）
上下水道局	緊急雨水整備事業（露橋雨水調整池、八幡雨水調整池、玉船雨水調整池）			

中京テレビ「NEWS EVERY」で取り上げられました！



陸前高田市で「子どもたちも感じたこと学んできたことが強い名古屋をつくる」

名古屋市会 2月定例会の内容が各メディアで取り上げられました。

3/7 中日新聞

東日本大震災

岩手に中学生派遣 来年度から、支援活動で

名古屋は12年度から、市が全面的に支援している東日本大震災の被災地・岩手県陸前高田市に、名古屋市の中学生を派遣する事業を始める。ボランティア活動などを通して被災地の実態を知ってもらう。

6日の市議会本会議で、浅井正仁市議（自民・中川区）の質問に答えた。13年度から両市の中学生を相互交流させる計画を進めており、12年度は試行段階として名古屋市の中学生数10人を派遣する予定。名古屋は震災後、職員を陸前高田市に長期派遣し、業務全般をサポートする「丸ごと支援」を実施している。11年8、11月には、市民や企業の寄付金で陸前高田市の中学生と教諭計280人を招待している。

三木幸治

中学生被災地訪問へ 名古屋市、新年度に試行

名古屋市長選挙は6日の定例会本会議で個人質問を続けた。市側は東日本大震災の復興を支援する岩手県陸前高田市との相互交流のため、名古屋の中学生が被災地を訪問できるようにする方針を示した。自然災害の脅威や復興に取り組む人たちの思いに直接触れてもらう狙い。浅井正仁議員（自民・中川区）の質問に伊藤彰教育長が答えた。（石川修巳）

市は被災地支援の一環として、昨年8、11月、陸前高田市の中学生ら二百八十人を名古屋に招き、市内五つの中学校の生徒との交流や就労体験の機会を提供した。経費はすべて名古屋市民や企業の寄付金で賄う仕組みで、計二千三百五十万円が集まった。市側は新年度もこのプロジェクトを続ける方針で、陸前高田市側も「近い将来には名古屋の子もたちにも来てもらいたい」と提案。双方の交流実現のため両市で一月から協議を始めたという。市教委によると、名古屋の中学生の被災地訪問は新年度に試行し、二〇一三年度から本格実施する方向で検討する。陸前高田市の受け入れ態勢や安全確保も考えて、新年度は夏休みや冬休みに十、二十人規模での訪問を想定している。

伊藤教育長は「被災地の様子を見たり話を聞いたりするとは、名古屋の将来を担う子どもたちにとって価値ある経験になる」と意義を述べた。

3/7 中日新聞

自然の脅威と、それに負けずに復興に取り組む人々の姿を学ぶ機会にしたい。

浅井市議の提言 中学生を被災地派遣へ

中学生 陸前高田へ

市方針 新年度も交流継続

名古屋市長選挙は6日、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市（名古屋市内の中学生を訪問させる方針を明らかにした。被災地を津波など自然災害の脅威を学ばせるとともに、両市の交流を継続させる狙いだ。市は昨年8月から12月にかけて、陸前高田市から中学生ら計280人を名古屋に招待し、市民や企業の寄付金で賄う仕組みで、計二千三百五十万円が集まった。市側は新年度もこのプロジェクトを続ける方針で、陸前高田市側も「近い将来には名古屋の子もたちにも来てもらいたい」と提案。双方の交流実現のため両市で一月から協議を始めたという。市教委によると、名古屋の中学生の被災地訪問は新年度に試行し、二〇一三年度から本格実施する方向で検討する。陸前高田市の受け入れ態勢や安全確保も考えて、新年度は夏休みや冬休みに十、二十人規模での訪問を想定している。

伊藤教育長は「被災地の様子を見たり話を聞いたりするとは、名古屋の将来を担う子どもたちにとって価値ある経験になる」と述べた。河村たかし市長も「ぜひ早く行けるように段取りしたい」と答えた。河村たかし市長も「ぜひ早く行けるように段取りしたい」と答えた。



東海テレビ「FNNスーパーニュース」で取り上げられました！

名古屋の子供たちにも復興に取り組む人々の思いに直接触れてほしい。

ぜひ、はやく段取りしましょう。

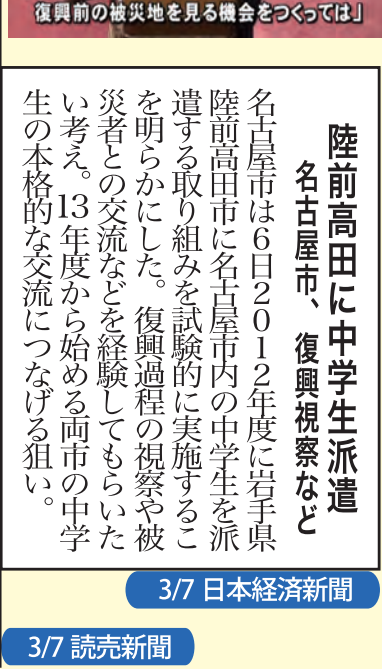
陸前高田に中学生派遣 名古屋市長選挙、復興視察など

名古屋市長選挙は6日、2012年度に岩手県陸前高田市に名古屋市内の中学生を派遣する取り組みを試験的に実施することを明らかにした。復興過程の視察や被災者との交流などを経験してもらいたい考え。13年度から始める両市の中学生の本格的な交流につながる狙い。

藤彰教育長は「被災地の人たちの復興にかけたい思いを知ることが、子どもたちにとって価値ある経験になる」と述べた。河村たかし市長も「ぜひ早く行けるように段取りしたい」と答えた。河村たかし市長も「ぜひ早く行けるように段取りしたい」と答えた。

3/7 日本経済新聞

3/7 読売新聞



中学生の目で復興に向かう被災地を見ることは貴重な体験になるに違いありません。

被災地との交流継続 名古屋の中学生を「陸前高田」へ

名古屋市会 6月定例会 浅井市議の 個人質問

あおなみ線にSLを!

名古屋市の河村たかし市長は1日の市議会本会議で、名古屋駅と名古屋港を結ぶ名古屋臨海高速鉄道「あおなみ線」に蒸気機関車(SL)を来年度にも走らせる構想を明らかにした。赤字脱却を目指す一策だが、高架軌道を走らせることができる軽い車両の確保や排煙などの問題があり、実現には多くのハードルがある。

浅井市議の市会での質問について、新聞各紙やテレビで取り上げられました。
中日新聞夕刊のトップ記事になりました
テレビで取り上げられました!



「あおなみ線に 来年度SLを」 河村市長

河村市長は「新幹線に乗ると、あおなみ線のホームはすぐ隣。あそこにSLがあれば、みんなが『ええなあ』と思うはず」と説明。プロジェクトチームを直ちに発足させる方針を示し「12年度中には走らせたい」と述べた。あおなみ線は市と愛知県が出資する第三セクターで、名古屋—金城ふ頭間(15.2キロ)を結ぶ。04年に開業したが、10年7月に事実上経営破綻。市と県が約450億円を財政支援し、13年度までの黒字化を目指す。【福島 祥】

7/2 毎日新聞

■あおなみ線
自民の浅井正仁議員(中川区)に河村たかし市長は、市が出資する第三セクター「あおなみ線(名古屋—金城ふ頭)を新たな観光名所とするため、二〇二二年度中に蒸気機関車(SL)を走らせたい」と述べた。
 市長は、話題性のある列車を全国から集め、日常的にあおなみ線で走らせる「動態鉄道博物館」構想も披露。金城ふ頭にオープンしたJR東海のリニア鉄道博物館と連携し、全国の鉄道ファンを呼び込みたいとした。
 あおなみ線は〇四年の開業から赤字が続いて経営破綻。市と県の財政支援を受けながら合理化を進め、経営再建に取り組んでいる。

7/2 中日新聞

あおなみ線 SL構想

河村市長が意欲的
 レールなど課題
 「あおなみ線にSLを走らせたい」と発言したことを受け、浅井正仁議員(自民)が本会議で質問した。
 所管する市住宅都市局特定交通経営管理室は「SLを走らせるには、レールや橋げたにかかる重さの問題、排出される煙などの課題は多いが、集客の目玉事業として、他の車両も含め、表現方法を検討したい」としている。

名古屋市の河村たかし市長は1日の6月議会本会議で、経営再建中の「あおなみ線(名古屋—金城ふ頭)の集客増を狙い、蒸気機関車(SL)や名鉄パノラマカーなどを走らせ、博物館として構想を明らかにした。河村市長は「二〇二二年度の実現を目指し、プロジェクトチーム(P.T.)を発足させる」と意欲を見せたが、高架部分の強度やSLの進行方向を転換させる方法など、課題は山積している。
 河村市長は今年3月、金城ふ頭駅近くに開館したJR東海の博物館「リニア・鉄道館」の完工式で、パノラマカーを走らせたい」と発言したことを受け、浅井正仁議員(自民)が本会議で質問した。

7/2 読売新聞

7/1 中日新聞夕刊トップ記事

後援会及びサポーターズクラブへのお申し込み・お問い合わせは、事務所でも行っております。



あさい正仁 事務所
 〒454-0927 名古屋市中川区打中1-176浅井マンション1F
 TEL 052-363-1157 FAX 052-354-0057
<http://masahito-asai.com>



浅井市議の提言が 新聞でも取り上げられました

**名古屋市 暴力団排除条例制定へ
 県条例の穴埋める**
 名古屋市は15日、市の外郭団体である名古屋市土地開発公社が保有する土地の買い戻し計画を、〇一一年度中に策定する方針を明らかにした。土地の買戻し計画は、地味利用法の再検討などによって、公社が保有する土地を段階的に減らし、財政負担の解消につながる。土地開発公社は、市に代わって公園や道路用地などに必要な土地を先行取得し、検査したい考えだ。
 名古屋市議会の九月定例会は十五日、本会議を再開し、議員九人が個人質問に登場した。タレントの島田紳助さんの引退などを背景とする暴力団対策に関して市側は、来年度中に暴力団排除条例を作成する考えを明らかにした。
【暴力団排除条例】 月から施行し、飲食、娯楽の事業者はならぬ。浅井正仁議員(自民)が「暴力団の排除に向けて社会が丸ごと取り組む必要がある。行政が率先し姿勢を示すことが重要。など早期の条例制定を求めた。同様の条例は県が今年四」

中日新聞

車体に運転手名表示へ 名古屋 事故報告書虚偽記載受け

名古屋バス事故報告書虚偽記載受け
 名古屋バス事故報告書虚偽記載を受け、市は長谷川康夫交通局長は6日の市議会本会議で、事故防止策の一環として、車体に運転手の名前入りのプレートを取り付ける考えを示した。取り付けるのは、長谷川局長は「市民の信頼を著し、全運転の徹底をはかるうえで効果が期待できる」と述べた。
 名古屋市のバス事故報告書に虚偽記載が相次いであったことを受け、市は長谷川康夫交通局長は6日の市議会本会議で、事故防止策の一環として、車体に運転手の名前入りのプレートを取り付ける考えを示した。取り付けるのは、長谷川局長は「市民の信頼を著し、全運転の徹底をはかるうえで効果が期待できる」と述べた。
 名古屋市のバス事故報告書に虚偽記載が相次いであったことを受け、市は長谷川康夫交通局長は6日の市議会本会議で、事故防止策の一環として、車体に運転手の名前入りのプレートを取り付ける考えを示した。取り付けるのは、長谷川局長は「市民の信頼を著し、全運転の徹底をはかるうえで効果が期待できる」と述べた。

3/7 毎日新聞

**1日200万円の金利、
 年間7億円の金利の
 ムダづかいを指摘!**
 市営バスが公道上の事故を警察に届け、長谷川康夫交通局長は「信頼を著し、損ねることになり深くおわびします」と陳謝。安全運転の意識を高めるため、バスの車体後部に運転手名を表示する考えを明らかにした。浅井議員は「外側に運転手の名前が入ればもっと気を使いなから運転するようになる」と評価した。

3/7 中日新聞

浅井市議活動報告

<p>東日本大震災被災地視察 陸前高田市</p>	<p>庄内川越水現場視察 大船渡市</p>	<p>荒子学区成人式挨拶</p>
<p>グラウンドゴルフ大会</p>	<p>沖縄興南高校我喜屋監督と対談</p>	<p>名古屋西リトルリーグ卒団式</p>
<p>交通安全啓発活動</p>	<p>なごやど祭りボランティア</p>	<p>地域のゴミ清掃運動</p>
<p>千音寺区画整理組合認可書交付式</p>	<p>前田利家公正室まつの像 除幕式をプロデュース</p>	

前田利家公正室まつの像 除幕式をプロデュース



河村市長とは是非の関係